

51年卒同期会報告

敬称略

51年卒業生の同期会を5/26(月)に真昼から東京近辺の参加者で実施しました。前回の2022年の秋保温泉にて開催以来3年目。

参加者: 渡邊、真野、宇野、宗像、則武、菊池の計6名。則武は開催直前の連絡にも拘わらず名古屋から急行。

場所: 第一生命ビル内のマッカーサールーム見学開始で、昼食は東京国際フォーラム最上階の東天紅。渡邊と宇野は仕事がありノンアルにも拘わらず、他4人は遠慮なく本物のビールで、会計は全て渡邊さん持ちでご馳走になり感謝です。

渡邊:

第一生命の渡邊光一郎特別顧問のご厚意で、マッカーサールームに招待されて見学から開始しました。超一流のガイドとして渡邊本人から詳細な説明があり、内容は国際情勢と関連付けた盛り沢山の為に、通常の30分コースから大幅に超過して1時間もある贅沢な時間でした。外部から見ると、GHQに接収されたという負の印象がありましたが、内容を聞くとむしろプラスの方が多いと感じました。

このビルは戦前に建設されており地下の要塞も想定していたようです。マッカーサーは皇居の正面という位置と、このビル自身の構造と6階執務室を見てGHQの拠点として場所を決定したそうです。

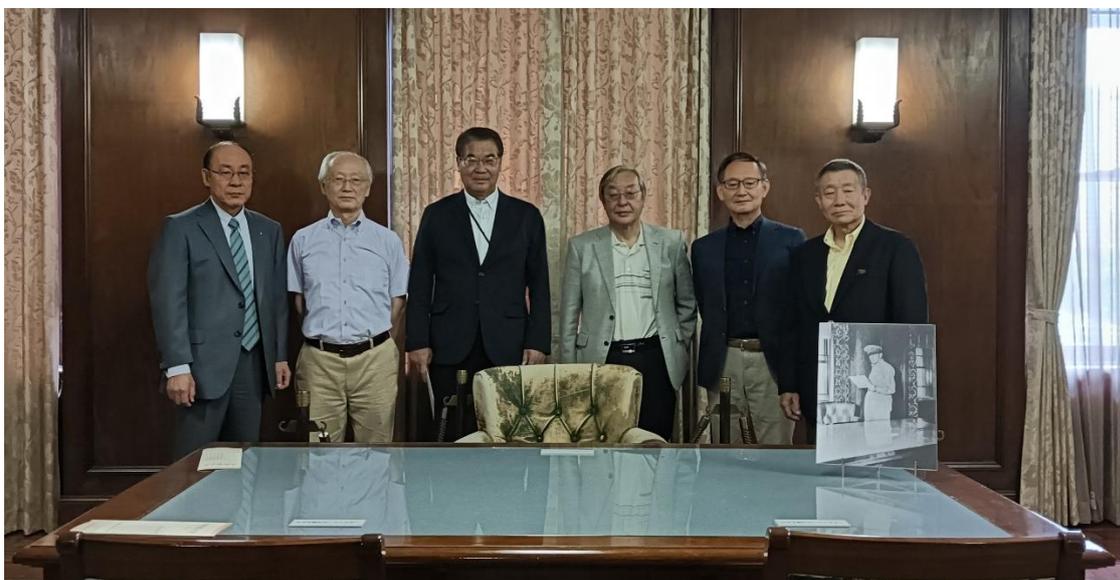
執務室対面の会議室は実務部隊が日本憲法の草案を作成した場所で、今も会社で実務として使用しています。壁には創業者の矢野恒太を筆頭に歴代社長の肖像画が飾ってあります。壁のスペースは十分に空いているので、将来は渡邊光一郎の場所も確保してあります。渡邊は2010年から7年間を社長として牽引し、その間に株式会社化と上場や海外企業のM&Aでのグローバル化他の業績があるので、資格はあると思っています。

今でも第一生命の特別顧問の他に、3つの財団の会長を兼務して現役活躍しており超多忙です。1つでも重責なのに、3つとは真野曰く公人です。同期として誇りに思います。

空手部時代の東日本大会の夢が今でも出てくる、と根底には空手部のDNAが流れています。

健康面では、鈴木行憲先輩の訃報に関連して心不全の情報提供がありました。心臓は痛みが無いので、息切れなどの他の症状があれば疑った方が良い。通常の定期健康診断では見えないので、人間ドックに掛かる必要がある。

マッカーサールームでの集合写真：



渡邊 菊池 宇野（マッカーサー） 真野 則武 宗像

宇野：

行政書士と調停委員の現役で、超多忙ながら合間を縫って大阪から合流。

現役時代の記憶も完璧で、当時の文書や写真の全記録を保管。

東北学院大の主将との対戦は、右の正拳が主将の顔面を捉えて陥没した瞬間を体で記憶し、今でも右手が覚えている。相手も主将のプライドがあるのでうずくまった後に立ち上がったため、反則にならずに宇野の勝利。

アイルランドの空手交流は3年で、拡張してアイルランドの大学との交流は1年が経過しました。この話が聞こえて全日本学生連盟の国際交流のプログラムに勧誘されました。連盟の長田理事長の考えは、空手を「善」の位置まで格上げしてオリンピックで採用されることが第一段階。野球やサッカーの様に学生も OBOG も融合して社会的な一員としての文化に育成したい。国際的なネットワークを広げて、日本のリーダーを育成したい。連盟の育成方向を、極端に言うとな材適所という考え方でアカデミック派とアスリート派に分けても良い。

アカデミックではハーバード、オックスフォード、ケンブリッジ他、日本では七帝で東大、京大、東北大他、私大では早慶、などを想定している。

健康面では毎朝のジョギングとナイハンチをルーチンとしている。マウンテンバイクで前方の人を避けようとブレーキを掛けた時に前方に空中回転したが、瞬時に体が反応して前方で着地したので無傷だったのは訓練の賜物。

調停委員は裁判所から再延長の依頼があり、75歳まで現役の予定。

真野:

尚武への寄稿で当時の記録を共有化しているので、全員の記憶の拠り所になっている。

現役当時の痛い経験では、他のメンバーと同様に前歯を数本痛められた。

今の健康方法はゴルフの他にはジム通いだが、大谷選手の試合があると他の日本人と同様に熱中してしまい、行く頻度が減っているのが実情。

胃がんの原因と言われているピロリ菌の駆除は、薬の投与中は7日間の完全禁酒が必要だが、それが不満なので検査をしないという猛者です。

宗像:

いつでも健康その物です。ジム、ゴルフ、テニスの他に、合気道を初めてもう2年になり5級に合格。力を抜くのがポイントで、全員が苦勞しているようです。その効果もあって、日常生活で最近後ろに転んだ時には自然に受け身ができました。

マンションの理事役は再々継続が続いていますが、頼られている証拠、と同期は思っています。

マンションの老朽化と区分所有者の老齢化は現在日本中で大きな問題となっています。法律改正も進んでいますが管理会社任せでなく区分所有者で作る管理組合(理事会)としてどの様に取り組んでいくのが良いのかマンションの有志を募り自主的な改善策を作り上げようと活動中です。

則武:

体形は全く変わらず健康。最近はやを痛めたので、プール内で歩くトレーニングを継続している。水の抵抗による前方からの負荷は効果があり、浮力があるので重力による脊髄への縦の圧迫が軽減されるので、リハビリや健康増強には最適です。

娘さんは第一生命に再就職されたので、安心が更に増えました。ZOOM ミーティングの時に則武にパソコンを横で補助してくれた娘さんです。

菊池:

健康寿命を意識した生活を継続。毎朝のジョギング、柔軟、前蹴り、流し突き、ナイハンチ、チントウ、太極拳、拳立て、腹筋、スクワット。雨天時は階段10階を6本だが、現役当時の亀岡神社の階段よりは楽です。

最近のジョギングで地面の小さい段差に右足のつま先が引っかかって、前方に転倒しそうになったが、その後の1秒の間に前方にジャンプしながら右手のペットボトルを投げて手の平と肘を曲げて回転して受け身をとったので無傷で生還。これは良いとして、2ミリの段差に足をとられた事は反省で、修行の継続が必要。

海外の刑事ドラマが好きですが、登場人物が多く且つファーストネームとセカンドネームを使い分けしているので、覚えきれずにビデオを巻き戻して再生する頻度が多くなりました。

ジョギングの途中で見える車のナンバープレートの番号を加減乗除して10にする訓練で、認知症抑制を心がけています。

会食の中で鈴木行憲先輩の武勇伝の紹介があり、話が広がりました。内容は文字に起こすのは出来ないのご容赦下さい。

鈴木行憲先輩へ献杯して散会。

散会後も話が尽きないので、店の横で30分以上も話が継続して誰も STOP しない。同期全員ともお互いの性格を良く知っているなので、思った事を何でも話せる関係です。

第一生命ビル前：



則武

宗像

渡邊の秘書嬢

渡邊

真野

宇野

菊池

書記担当 菊池